

TRIPLE P プロバイダー トレーニングのプロセス

Triple P プロバイダートレーニングの プロセス

Triple P プロバイダートレーニングコース(以下トレーニングコース)は、エビデンスに基づいたモデルを維持しながら、柔軟に親にプログラムを提供する支援者を養成するようデザインされています。トレーニングコースは、効果的なエビデンスに基づいた子育て支援を、あなたの業務環境で様々な家庭に提供するのをアシストします。

トレーニングコースは、養成講座と、実技ベースの認定プロセスから成り立っています。トレーニングコースは、トリプルP ジャパン(TPJ)が主催で、主に東京・大阪エリアで開催されます。他の地域でも、トレーニングコースを開催するのに十分な関心が得られた場合には、他の地域での開催も予定することが可能です。開催予定のトレーニングコース、トレーニングコースの開催企画について、詳しい情報については、TPJにお問い合わせください。

各トレーニングコースの定員は20名です。認定試験は、養成プロセスの重要な要素の一つで、養成講座の約2-3か月後に予定されます。すべてのTriple P プロバイダートレーニングコースは、クイーンズランド大学により規定されたトレーニングコースの品質保証の要件を満たしているTriple P トレーナーが担当します。

受講資格

通常、Triple P トレーニングは保健、教育、保育、福祉などの業務に携わる、高卒以上の資格を持つ支援従事者が対象です。ですが、上記の資格がなくても、親や子どもと積極的に関わる「実践の」役割を担っている支援者にも、トレーニングに参

加する資格があります(例:保健の家庭訪問員、親支援スタッフなど)。このような支援従事者は、定期的の実施に関する監督とサポートを受け、子どもの発達に関する知識や様々な家庭と関わる職務経験を持っていることが求められます。



トレーニングコースの中には、他のTriple P トレーニングコースを受講していることが受講資格になっているものもあります。詳しくは、TPJにお問い合わせください。

養成講座

養成講座は、プログラムのレベルにより、通常1日から3日かけて行われます。養成講座では、一般的な行動学的家庭支援、そしてTriple P 特有の

行動学的家庭支援の理論的基礎を紹介します。さらに、子どもの行動や感情の問題の形成や発生率に関する包括的な概要も紹介されます。

スキルベースのトレーニングアプローチを用いて、効果的なプログラム実施に必要な様々な相談技術を紹介します。トレーナーは、講義的なプレゼンテーション、ビデオによるデモンストレーション、実践上の問題解決、相談技術のロールプレイ、助言、他の参加者からの助言や指導などを用いて、あなたが養成講座から最大限学ぶことができるように手助けします。

養成講座では、講義ノートと、プログラム実施に必要な教材一式をお渡しします。認定試験に参加するには、養成講座の全日程に参加することが求められますが、特別な事情がある場合には、日程の80%の参加でも認定試験に参加できます。

認定試験

Triple P の技能ベースの認定プロセスは、すべてのトレーニングコースに必須です。Triple P 実施に関わるあなたの技能を公式に認定するためだけでなく、適切な技能で効果的に Triple P が地域で提供されることを確実にするためでもあります。認定プロセスを修了した支援従事者は、修了しなかった支援従事者に比べて、プログラムを実施する確率が高く、プログラム実施の頻度も高いことが研究により示されています。ですから、認定プロセスを修了する支援従事者の割合を増やして、結果として Triple P の実施を増やすことで、支援を受ける家庭の数を増やします。認定プロセスを修了することで、プログラムの質の維持が継続し、参加する家庭が最善の成果を得ることを確かなものにします。

認定試験日当日は、認定に必要な技能を実演する機会があり、その実演についてコーチングや助言を受けます。個々の参加者に対応する機会を増やすために、認定ワークショップは各セッションにつき5人から10人の参加者に限定され、半日のセッションとして行われます。



ほとんどの場合、認定ワークショップの終わりまでに、参加者は認定に必要なすべての技能を的確に実演します。もし認定ワークショップが終わるまでに合格できなかった場合は、同僚と一緒に養成講座を受けた仲間からのサポートやコーチングを受けることが奨励されます。その後、別の日に行われる認定セッションに再参加することもできますし、別の日に再参加するオプションがない場合には、認定技能の実演を録画したものを提出するか、Triple P トレーナーとのスカイプビデオコールで認定を修了することが可能です。

技能実演のほかに、養成講座の終了後に認定試験までの間に回答する 30 問の選択問題クイズがあります。クイズの採点は認定試験当日に行われます。クイズに合格するには、80%以上の問題に正解する必要があります。80%の正解率に満たなかった場合は、訂正したクイズの回答用紙を TPJ にお送りいただき、後日採点を受けます。

決められた認定試験日に参加できない場合は、認定に必要な技能実演やクイズを Triple P に提出するよう申し込むことができます。詳しくは、TPJ にお問い合わせください。

Triple P プロバイダーネットワーク

トレーニングコースを修了すると、オンラインの Triple P プロバイダーネットワークにアクセスできます。このネットワークは、養成後の継続した支援の一部です。Triple P プロバイダーネットワークでは、あなたのプログラム提供場所や連絡先を入力して、Triple P 親向けウェブサイトの Google マップに掲載することができます。

ピアサポート (PASS)

PASS モデルは、あなたの仲間とのサポートのプロセスをアシストする、人材育成の方法として開発されました。PASS は、枠組みのある助言やフィードバックの手順で、複雑な相談技術の学びを促進します。経験の浅い支援従事者が、経験豊富な支援従事者と一緒に参加すると、特に効果的ですが、同じくらい経験のある支援従事者同士が集まって、話し合うのも効果的です。PASS モデルは、あなたのキャリアを通じて使用されるために作られていますが、Triple P—前向き子育てプログラムのような新しい支援法の実施を身につける際には、特に有効です。

TPJ では、養成を受けた支援従事者の皆さんが、PASS を用いて定期的に集まり、プログラムの質を維持し、プログラム実施についての自信と技能を向上することをお薦めしています。

